



統計スポット情報

No. 74

15.5.30

福井県総務部情報政策課

減少続く商業事業所数、年間商品販売額

今回は平成14年の商業統計調査結果から、福井県の商業の動向を見てみましょう。

事業所数は13,731で平成11年調査(以下前回という)と比べて7.6%減少しました。

従業者数は80,517人で前回と比べて2.1%減少しました。卸売業では前回に引き続き減少していますが、小売業ではパート・アルバイト等の増加により前回に引き続き増加しています。

年間商品販売額は2兆3,157億円で前回と比べて16.7%減少しました。特に、卸売業は前回に引き続き2桁の大幅な減少となっています。

事業所数、従業者数、年間商品販売額

	調査年	事業所数		従業者数			年間商品販売額			
		構成比 (%)	前回比 (%)	(人)	構成比 (%)	前回比 (%)	(億円)	構成比 (%)	前回比 (%)	
合計	平成11年	14,858	100.0	7.2	82,204	100.0	0.3	27,799	100.0	14.6
	平成14年	13,731	100.0	7.6	80,517	100.0	2.1	23,157	100.0	16.7
卸売業	平成11年	3,212	21.6	0.4	26,663	32.4	6.3	17,990	64.7	17.2
	平成14年	2,911	21.2	9.4	24,182	30.0	9.3	14,105	60.9	21.6
小売業	平成11年	11,646	78.4	8.8	55,541	67.6	2.7	9,810	35.3	9.6
	平成14年	10,820	78.8	7.1	56,335	70.0	1.4	9,052	39.1	7.7

次に、過去30年間に実施された商業統計調査から事業所数、従業者数、年間商品販売額の前回比の推移を見てみましょう。

事業所数は、昭和63年までは増減を繰り返してきましたが、平成3年以後は減少の一途をたどっています。従業者数は、バブル景気後の平成3年まで増加しましたが、平成6年から減少に転じています。しかし、就業構造の変化で正社員等は減少していますが、パート・アルバイト等が増加していることから減少率は小さくなっています。年間商品販売額については、平成3年までは大幅に増加してきましたが、平成6年から減少に転じ、特に平成11年以降は不況により減少率が非常に大きくなっています。

事業所数、従業者数、年間商品販売額の前回比の推移

